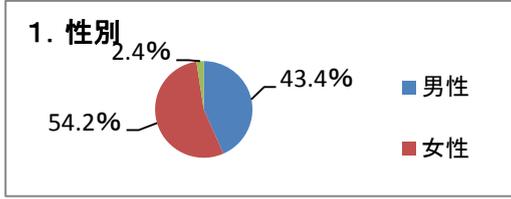
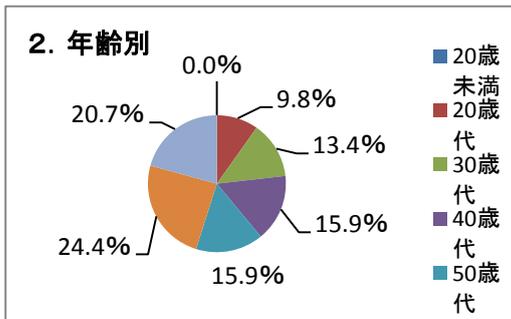


第1～3回 鳴門市女性活躍推進 事業所セミナー

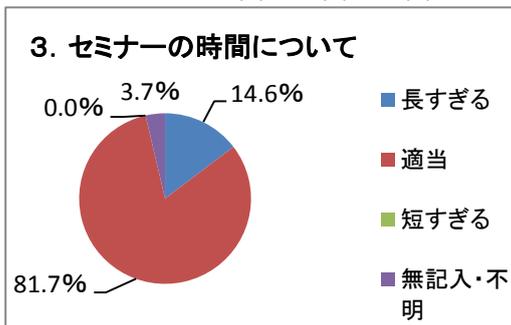
	第1回	第2回	第3回	構成比
1. 性別 男性	13人	13人	10人	43.4%
女性	19人	8人	18人	54.2%
無記入・不明	2人	0人	0人	2.4%
合計	34人	21人	28人	100.0%



	第1回	第2回	第3回	構成比
2. 年齢 20歳未満	0人	0人	0人	0.0%
20歳代	4人	1人	3人	9.8%
30歳代	4人	4人	3人	13.4%
40歳代	7人	5人	1人	15.9%
50歳代	6人	5人	2人	15.9%
60歳代	6人	3人	11人	24.4%
70歳以上	7人	2人	8人	20.7%
合計	34人	20人	28人	100.0%



	第1回	第2回	第3回	構成比
3. セミナーの時間について 長すぎる	7人	2人	3人	14.6%
適当	24人	19人	24人	81.7%
短すぎる	0人	0人	0人	0.0%
無記入・不明	3人	0人	0人	3.7%
合計	34人	21人	27人	100.0%



	第1回	第2回	第3回	構成比
4. 内容の理解度は 理解できた	17人	12人	21人	63.3%
まあまあ理解できた	14人	9人	5人	35.4%
理解できなかった	0人	0人	1人	1.3%
無記入・不明	3人	0人	0人	3.8%
合計	31人	21人	27人	100.0%

- ・第1回目 8月26日(水)
 - ・第2回目 12月18日(金)
 - ・第3回目 1月21日(木)
- 全セミナーは午後6時30分～

【参加者数】165名

(うちアンケート有効回収数:83)

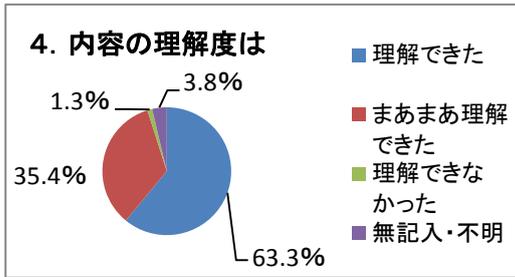
◆参加者の性別については、43.3%が男性、54.2%が女性、2.4%が無記入・不明で、女性の参加が過半数以上であった。

◆年齢別では、60歳代が24.4%で最も多く、次いで70歳以上が20.7%、40歳代と50歳代がともに15.9%であった。

30歳代が13.4%、20歳代が9.8%と低く、これから働く世代の中心になる年齢層が少なかった。

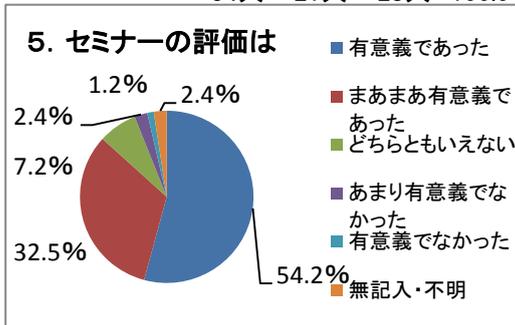
◆セミナーの時間については、「適当」であったとの回答が81.7%と高く、時間は適当であったと考えられる。

◆講演内容の理解については、「理解できた(63.3%)」「まあまあ理解できた(35.4%)」と、ほぼ全体的に内容の理解を得られている。



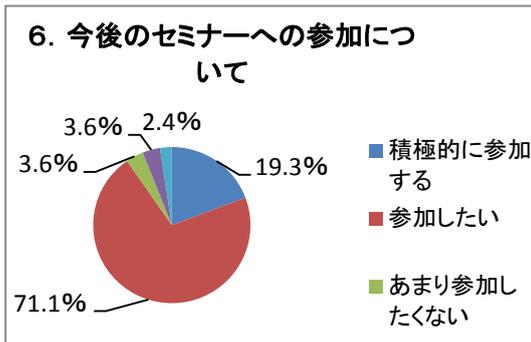
5. セミナーの評価はどうであるか(5段階評価)

参加人数	第1回	第2回	第3回	構成比
有意義であった	15人	12人	18人	54.2%
まあまあ有意義であった	11人	7人	9人	32.5%
どちらともいえない	5人	1人	0人	7.2%
あまり有意義でなかった	1人	1人	0人	2.4%
有意義でなかった	0人	0人	1人	1.2%
無記入・不明	2人	0人	0人	2.4%
合計	34人	21人	28人	100.0%



6. 今後もこのようなセミナーがあれば参加するか

参加人数	第1回	第2回	第3回	構成比
積極的に参加する	4人	8人	4人	19.3%
参加したい	24人	12人	23人	71.1%
あまり参加したくない	3人	0人	0人	3.6%
参加しない	1人	1人	1人	3.6%
無記入・不明	2人	0人	0人	2.4%
合計	34人	21人	28人	100.0%



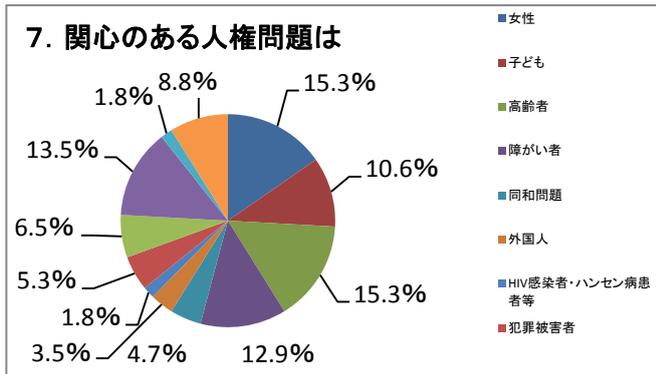
◆セミナーの評価としては、「有意義であった(54.2%)」、「まあまあ有意義であった(32.5%)」と全体の86.7%であり、概ね有意義であったと考えられる。

それ以外、少数ではあるが「あまり有意義でなかった」「有意義でなかった」との意見もあった。

◆今後このようなセミナーがあれば「参加したい(71.1%)」と最も多く、「積極的に参加したい」が19.3%で、全体的に参加への意欲は80.4%と高く、今後も事業所向けセミナーを開催していく意義があると考えられる。

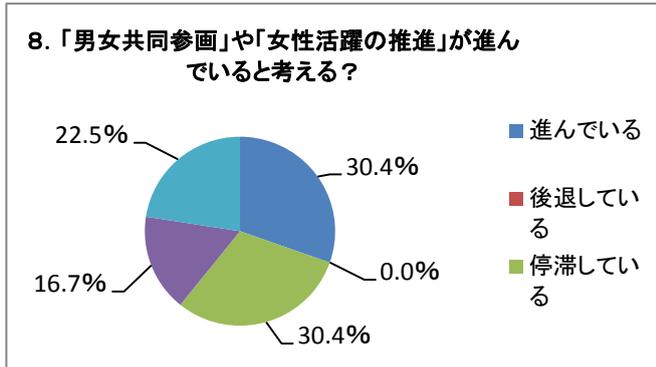
7. あなたが関心を持つ人権問題は？(複数回答)

	参加人数	第1回	第2回	第3回	構成比
ア 女性		10人	8人	8人	15.3%
イ 子ども		7人	5人	6人	10.6%
ウ 高齢者		6人	9人	11人	15.3%
エ 障がい者		9人	7人	6人	12.9%
オ 同和問題		4人	4人	0人	4.7%
カ 外国人		2人	2人	2人	3.5%
キ HIV感染者・ハンセン病患者等		0人	1人	2人	1.8%
ク 犯罪被害者		3人	2人	4人	5.3%
ケ 刑を終えて出所した人等		5人	0人	6人	6.5%
コ インターネットによる人権侵害		10人	5人	8人	13.5%
サ アイヌの人々		3人	0人	0人	1.8%
シ さまざまな人権課題 (性同一性障がい・拉致など)		6人	5人	4人	8.8%
合計(複数回答)		65人	48人	57人	100.0%



8. あなたは「男女共同参画」や「女性活躍の推進」が進んでいると思いますか？

	参加人数	第1回	第2回	第3回	構成比
ア 進んでいる		10人	11人	10人	30.4%
イ 後退している		0人	0人	0人	0.0%
ウ 停滞している		16人	7人	8人	30.4%
エ わからない		6人	3人	8人	16.7%
オ 無記入・不明		2人	21人	0人	22.5%
合計		34人	42人	26人	100.0%



◆関心を持つ人権問題については「女性」と「高齢者」に関心を持つ人が15.3%と最も高く、次いで「インターネットによる人権侵害」が13.5%、「障がい者」「子ども」と同様に関心が高い。

「外国人」「アイヌの人々」への関心がまだ低く、今後が人権セミナー等での課題である。

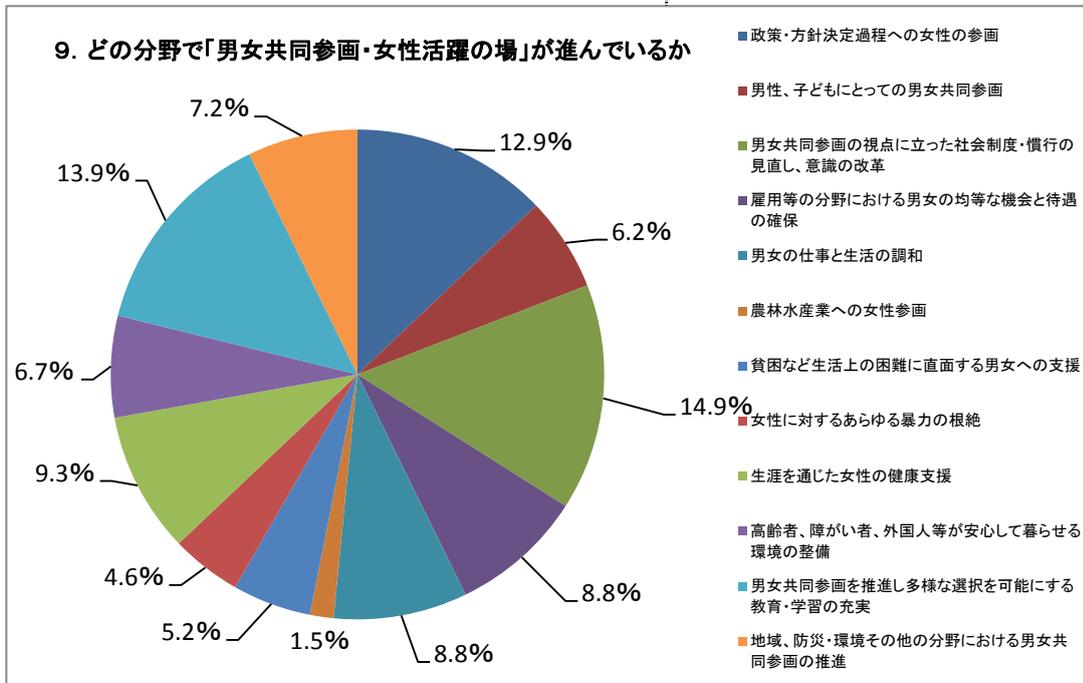
全体的には、何らかの人権問題には関心を持っていることがわかる。

◆男女共同参画や女性活躍の推進が進んでいるかについては、「進んでいる」「停滞している」が30.4%で同数。「わからない」が16.7%となっている。

9. どの分野で「男女共同参画・女性活躍の場」が進んでいると思うか？（3つ回答）

参加人数	第1回	第2回	第3回	構成比
ア 政策・方針決定過程への女性の参画	9人	8人	8人	12.9%
イ 男性、子どもにとっての男女共同参画	4人	4人	4人	6.2%
ウ 男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し、意識の改革	12人	11人	6人	14.9%
エ 雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保	5人	4人	8人	8.8%
オ 男女の仕事と生活の調和	3人	5人	9人	8.8%
カ 農林水産業への女性参画	1人	1人	1人	1.5%
キ 貧困など生活上の困難に直面する男女への支援	4人	2人	4人	5.2%
ク 女性に対するあらゆる暴力の根絶	1人	3人	5人	4.6%
ケ 生涯を通じた女性の健康支援	11人	2人	5人	9.3%
コ 高齢者、障がい者、外国人等が安心して暮らせる環境の整備	8人	1人	4人	6.7%
サ 男女共同参画を推進し多様な選択を可能にする教育・学習の充実	11人	8人	8人	13.9%
シ 地域、防災・環境その他の分野における男女共同参画の推進	6人	4人	4人	7.2%
	75人	53人	66人	100.0%

◆どの分野において男女共同参画や女性活躍の場があるかについては、「男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し、意識の改革」が14.9%と最も高く、次いで「男女共同参画を推進し多様な選択を可能にする教育・学習の充実」が13.9%、「政策・方針決定過程への女性の参画」が12.9%となり、比較的設問内容が進んでいると考えられる。そのほか、「生涯を通じた女性の健康支援」や「男女の仕事と生活の調和」も回答もあった。

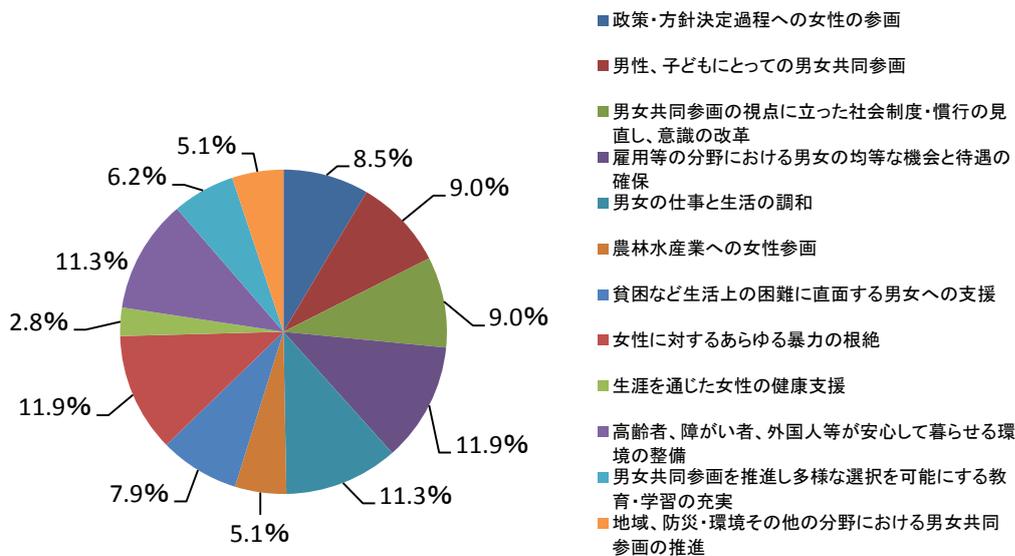


10. 「男女共同参画・女性活躍の場」が進んでいない・後退している分野は？（3つ回答）

	参加人数	第1回	第2回	第3回	構成比
ア 政策・方針決定過程への女性の参画		4人	5人	6人	8.5%
イ 男性、子どもにとっての男女共同参画		9人	0人	7人	9.0%
ウ 男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し、意識の改革		11人	2人	3人	9.0%
エ 雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保		9人	5人	7人	11.9%
オ 男女の仕事と生活の調和		11人	3人	6人	11.3%
カ 農林水産業への女性参画		3人	2人	4人	5.1%
キ 貧困など生活上の困難に直面する男女への支援		4人	5人	5人	7.9%
ク 女性に対するあらゆる暴力の根絶		8人	9人	4人	11.9%
ケ 生涯を通じた女性の健康支援		1人	4人	0人	2.8%
コ 高齢者、障がい者、外国人等が安心して暮らせる環境の整備		7人	4人	9人	11.3%
サ 男女共同参画を推進し多様な選択を可能にする教育・学習の充実		5人	3人	3人	6.2%
シ 地域、防災・環境その他の分野における男女共同参画の推進		2人	5人	2人	5.1%
		74人	47人	56人	100.0%

◆どの分野において進んでいないかでは、「雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保」、「女性に対するあらゆる暴力の根絶」（11.9%）が一番多く、「男女の仕事と生活の調和」「高齢者、障がい者、外国人等が安心して暮らせる環境の整備」がともに11.3%となっており、この4つに進んでいない回答が集中している。

10. 男女共同参画・女性活躍の場が進んでいないと思う分野について

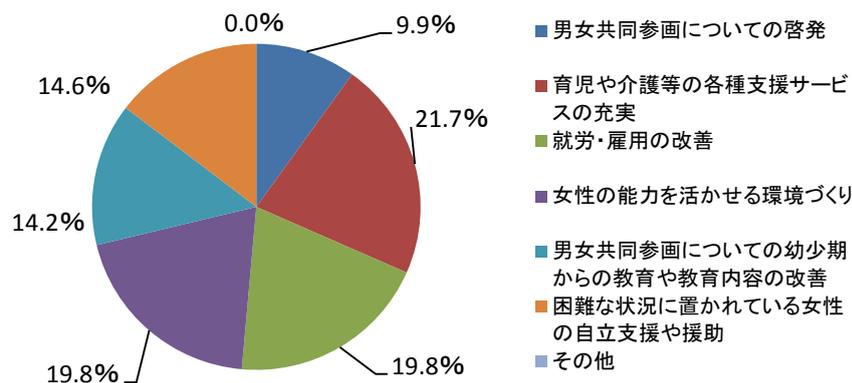


11. 男女共同参画社会実現のためにどのような施策・事業が必要か？

	参加人数	第1回	第2回	第3回	構成比
ア 男女共同参画についての啓発		9人	6人	6人	9.9%
イ 育児や介護等の各種支援サービスの充実		18人	11人	17人	21.7%
ウ 就労・雇用の改善		19人	11人	12人	19.8%
エ 女性の能力を活かせる環境づくり		17人	11人	14人	19.8%
オ 男女共同参画についての幼少期からの教育や教育内容の改善		17人	5人	8人	14.2%
カ 困難な状況に置かれている女性の自立支援や援助		11人	9人	11人	14.6%
キ その他		0人	0人	0人	0.0%
		91人	53人	68人	100.0%

◆男女共同参画社会実現に何が必要かについては、どの項目にも一定程度の回答数があったが、中でも特に高いのは「育児や介護等の各種支援サービスの充実」の21.7%、ついで「就労・雇用の改善」、「女性の能力を活かせる環境づくり」の19.8%であった。

11. 男女共同参画社会実現のために何が必要か



12. 家庭生活の中で、男性がもっと担うべきことは何ですか？(2つ回答)

参加人数	第1回	第2回	第3回	
ア 炊事や洗濯などの家事	11人	8人	7人	18.4%
イ 子どもの送迎や看護、授業参観などの子育て・教育	17人	5人	9人	22.0%
ウ 親の介護や治療時の対応	16人	6人	12人	24.1%
エ 町内会やボランティアなど地域活動	7人	6人	7人	14.2%
オ 女性が自由時間を持てるようにする支援	10人	12人	7人	20.6%
カ その他	0人	0人	1人	0.7%
	61人	37人	43人	100.0%

◆家庭生活の中で、男性がもっと担うべきこととしては、「親の介護や治療時の対応」が24.1%と最も多い。ついで「子どもの送迎や看護、授業参観などの子育て・教育」が22.0%となり、「女性が自由時間を持てるようにする支援」が20.6%、「炊事や洗濯などの家事」が18.4%、「町内会やボランティアなど地域活動」が14.2%となった。

12. 男性が担うべきことは何？

